

07. 平均在院日数(一般病床)

1. 指標について

病院全体で一人一人の患者さんが何日間入院しているかを示す指標です。
急性期疾患を取り扱う病院と慢性期疾患を取り扱う病院では当然違いが出ます。当然、疾患によって入院日数に違いがありますが、同じ疾患でも医療の進歩により経年で短くなっています。病床利用率と共に病院の機能示す指標となります。

2. 当院での定義・計算方法

分子： 年間在院患者延べ数 (※一般病床のみ)

分母： (年間新入院患者数＋年間退院患者数)÷2 (※一般病床のみ)

3. 当院の数値

2015年度 17.1 日